【音楽科の目標】
第１　目　標
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，音楽を愛好する心情を育てるとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽活動の基礎的な能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

【第２学年及び第３学年】
１　目　標
⑴音楽活動の楽しさを体験することを通して，音や音楽への興味・関心を高め，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
⑵多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り，表現の技能を伸ばし，創意工夫して表現する能力を高める。
⑶多様な音楽に対する理解を深め，幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

	月	題材	ねらい	時数	共通事項 「Ａ表現」「Ｂ鑑賞」の指導を通して次の事項を指導する。 ア 音色，リズム，旋律，テクスチュア，強弱，形式などの音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて，音楽活動を通して理解すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。	主な教材 Ａ表現： 表現教材は次に示すもの ア 我が国及び諸外国の様々な音楽のうち，指導のねらいに適切で，生徒の意欲を高め親しみのもてるものであること イ 歌唱教材は，我が国及び諸外国の様々な音楽のうち，指導の観点から次に取り上げたものを含めること。 （ア）我が国で長く歌われている歌曲や，我が国の四季の美しさを味わえるものや，日本語のもつ美しさを味わえるもの （イ）民謡など我が国の伝統的な歌唱や，地域の生活や学校生活の実態を考慮して，伝統的な声の特徴を感じ取れるもの Ｂ鑑賞： 鑑賞教材は，我が国や郷土の伝統音楽を含む諸，外国の様々な音楽のうち，指導のねらいに適切なものを取り扱う。	Ａ　表現 （１）歌唱 ア 歌詞の内容や曲想を味わい，曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。 イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して，それらを生かして歌うこと。 （２）器楽 ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して，表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 ア 曲想を味わい，曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。 イ 楽器の特徴を理解し，基礎的な奏法を生かして演奏すること。 ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して，表現を工夫して演奏すること。 （３）創作 ア 言葉や音階などの特徴を生かし，表現を工夫して旋律をつくること。 イ 表現したいイメージをもち，音素材の特徴を生かし反復，変化，対照などの構成や，全体のまとまりを工夫し，ながら，音楽をつくること。	Ｂ鑑賞 ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との かかわりを理解して聴き，根拠をもって批評すること。 イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して，鑑賞すること。 ウ 我が国や郷土の音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して，鑑賞すること。	評価規準 音楽への関心・意欲・態度 音楽に親しみ，音楽を進んで表現し，鑑賞しようとする。 【第２学年及び第３学年】 音や音楽への興味・関心を高め，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，生涯にわたって音楽に親しもうとする。	音楽的な感受や表現の工夫 音や音楽のよさや美しさを感じ取り，それらを音楽活動の中で創意工夫し，生かしている。 【第２学年及び第３学年】 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などや速度，強弱の働きを知覚し，音楽のもつ曲想や美しさを感じ取る能力を高め，楽曲への理解を深めながらそれらを生かした表現や鑑賞の工夫	表現の技能 音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。 【第２学年及び第３学年】 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り，曲に対する自分の解釈やイメージを音を通して適切に表現していくため，発声や楽器の扱い，読譜力などの基礎的な表現の技能を伸ばし，創造的に表現する能力を高める。	鑑賞の能力 音楽を楽しく聴取，鑑賞し，そのよさや美しさを味わう。 【第２学年及び第３学年】 楽曲全体の曲想と諸要素の働きによる効果，我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽の特徴などを，背景となる文化・歴史や他の芸術などとかかわらせて総合的に理解して聴く。	備考
前期	4 5	「春に」の歌詞を生かして歌い方を工夫しよう	・歌詞と旋律のかかわりを理解し，言葉の抑揚を意識しながらよりよい表現を工夫して歌うことができる。	6	音色・形式	〈歌唱教材〉「春に」 〈鑑賞教材〉「千の風になって」	○		○						○			音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に関心をもち，自己のイメージや感情の根拠を歌詞や曲のしくみの中に見付けることに	音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に関心をもち，自己のイメージや感情の根拠を歌詞や曲のしくみの中に見付けている。	音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に関心をもち，自己のイメージや感情を生かして，歌唱表現をする技能を身に付けている	音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想を理解して，表現の工夫を味わって聴いている。	
	6 7	世界の音楽に親しもう	・西洋音楽の発展とともに，その地域特有の音楽がつくられていることを認識し，それぞれの音楽的な違いを感受できる。 ・民族的な音楽の楽器やリズムから音楽的な特徴を理解し，自分なりの意見がもてる。 ・風土や気候および政治的な背景などによる民族性の違いが音楽的な特徴にかかわりがあることを認識する。	2	音色・リズム	〈鑑賞教材〉「フラメンコ」など											○	西洋音楽の中にも民族的な色彩の強い楽曲があることに興味を示して聴いている。	民族音楽のリズムや楽器の音色などを感じ取っている。		民族音楽がその風土や風習，儀式などと密接に関係していることを理解している。	
	8 9	自分のイメージにふさわしい歌をつくろう	・旋律の仕組みに関心をもち，意欲的に旋律創作したり鑑賞をする。 ・様々な音の組み合わせによる旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受して，イメ　ージを膨らませながら表現を工夫する。 ・歌詞の言葉のリズムや抑揚を生かして，イメージに合った旋律をつくることができる。 ・旋律と歌詞とのかかわりが生み出す曲想を味わって聴くことができる。	4	旋律・リズム・テクスチュア	〈創作教材〉「教師の自作による歌詞」　〈鑑賞教材〉「自主製作教材」「主人は冷たい土の中に」								○		○		旋律の仕組みに関心をもち，意欲的に旋律創作したり，鑑賞している。	様々な音の組み合わせによる旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受して，イメージを膨らませながら表現を工夫している。	歌詞の言葉のリズムや抑揚などを生かして，音を適切に選んで，イメージに合った旋律をつくっている。	旋律と歌詞とのかかわりが生み出す曲想を味わって聴いている。	
後期	10 11	混声合唱の表現を工夫しをしよう	・声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。 ・合唱コンクールへの参加を通して，いろいろな合唱曲に取り組み，表現力と合唱を愛好する心情を育てる。	6	音色・テクスチュア	各クラスの合唱曲	○											声部の役割を生かして全体の響きの調和に関心をもち合唱表現をすることに意欲的である。	声部の役割を生かして全体の響きの調和を感じ取って合唱表現を工夫している。	声部の役割を生かして全体の響きの調和を感じ取って合唱表現をする技能を身に付けている。		
	12 1	日本の音楽に親しもう	・日本の古来の音楽の特徴を理解し，それぞれの芸能の音楽的な特徴を感受することができる。	3	音色	〈鑑賞教材〉「小鍛冶」 「勧進帳」										○	○	我が国や郷土の伝統音楽に関心をもち，意欲的に聴いている。	我が国や郷土の伝統音楽の特徴を感じ取っている。		音楽の特徴や特質をその音楽の生まれた時代や地域の文化，歴史とのかかわりを理解し，楽曲全体を聴き取っ	
	2 3	卒業式の歌を心をこめて歌おう	・心を込めて歌唱をする。 ・ゆったりした旋律に対する表情の工夫や微妙なニュアンスの違いを感じ取りながら合唱をする。	6	音色・速度・強弱	卒業式の歌	○		○									歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成に関心をもち，自己のイメージや感情を生かして歌唱表現をすることに意欲的である。	歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成に関心をもち，自己のイメージや感情を生かして歌唱表現を工夫している。	歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成に関心をもち，自己のイメージや感情を生かして歌唱表現をする技能を身に付けている。		